様式３－２

令和8年10月8日

令和8年度　結果の分析及び今後の改善策（案）

（ 中間 ・ 最終 ）　　郷原中学校区　校番6　　学校名　郷原小学校

重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	l 結果の分析（結果と課題をこう考えます）	m 今後の改善策（案）（こう改善します（案））
★★★ 確かな学び	主体的に学ぶ児童の育成	基礎学力の定着（算数科）	○算数科の各単元末テスト（知識・技能）の学級平均点が80点以上の割合は7学級中4学級だった。単元によっては80点を上回る学級もあった。全体的に，読みとる力に課題がある学級が多かった。	○チャレンジタイムでは引き続き，百マス計算を行ったりキュビナを活用したりして，基礎学力の定着を図る。 ○全学年，金曜日に読み取りプリントの宿題を出し，次の週のチャレンジタイムで答えや解き方の解説を行い，読み取る力の育成に取り組む。 ○城山タイムを水曜日の6時間目に位置づけ，全員参加の体制を引き続き行う。教員が複数体制で，個別に児童に対応できる時間が増やせるように環境を整える。
		表現力の向上	○1学期の振り返りの分析では，振り返りの3観点に合わせて質の高い振り返りを書くことができた児童は全体的に少なかった。自分の考えの変化についての観点で振り返りを書くことに課題のある児童が特に多かった。	○各学年の振り返りの見本を掲示し，質の高まった振り返りを児童にも周知する。 ○振り返りを意識した逆算的な授業づくりを計画的に実施し，定期的に実践交流も行いながら統一した指導を行っていく。
★★ 豊かな心	人との関わりから学ぶ児童の育成	いじめや暴力行為等を許さない学校環境づくりを推進する。	○全校児童のほとんどが「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」に肯定的な回答をしていた。現在の取組で，いじめを許さない風土が育まれている。	○現在の取組の継続。さらに，否定的な回答をした児童の現状を把握し，個別に対応しながら，内面の成長を促していく。
		（貫） ふるさと郷原を愛する児童の育成	○肯定的回答が87%と，おおむね満足できる結果となった。地域の良さを素直に表現できるような環境が整ってきている。	○地域と連携した活動は，年間計画に位置付いている。活動を通して，関わってくれている地域の方の思いを感じ取ることができるように単元を構成する。活動後も，地域の方の思いを自分の事として考えられるようにまとめ等を工夫する。
★ 健やかな体	自らの健康を考えて安全に行動できる児童の育成	進んで健康・体力つくりに努める児童の育成	○体力テストの結果から握力・上体起こし・長座体前屈の平均値が県平均を上回る学年の割合が低かった。	○毎日朝の会で，学校で決めた，柔軟性や腹筋を鍛える運動に取り組む。授業中や朝会時の姿勢を意識させることで体幹を意識させる。郷原っ子体操やサーキット運動は，体育科の授業で継続して取り組み，肯定的な評価をしていく。
		自分の命は自分で守ろうとする児童の育成	○「呉市防災教育カリキュラム」に基づいた授業の実施率は100%であった。全クラスでそれぞれ取組を実施することができた。	○今後も取組を継続し，教育活動全体を通して，防災教育を実施していく。

働き方改革	教職員が意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	児童と向き合う時間の確保 長時間勤務の削減	○教職員アンケートにおいて「確保できている」と肯定的に回答した教職員の割合は100%であり，指標（80%以上）を達成することができた。SSS（スクール・サポート・スタッフ）や特別支援学級指導員，学校教育指導補助員等による業務支援は大きな支えとなっている。 ○時間外勤務45時間を超える教職員の割合は20%であり，指標（30%以下）を達成することはできた。	○新年度は，教職員の異動もあり多忙を極めたが，今後も「何でも聞ける」「相談できる」雰囲気を教職員全員でつくり，安心して働ける環境を整えていく。 ○教職員のボトムアップによる業務改善の日常化を進めていく。 ○教職員のタイムマネジメントの向上を図りつつ，会議や日課の時間短縮や時数削減等を活用し，放課後の時間確保に今後も努める。